

老健 しずおか

静岡県老人保健施設協会機関誌
ROUKEN SHIZUOKA

第20号

2016.03

20

編集／静岡県老人保健施設協会機関誌部会
題字／タカネ園習字クラブ

平成28年3月発行

印刷／株式会社第一印刷

TEL (053) 544-9701

TOPIC 1

静岡県の老健施設における 災害への備え

TOPIC 2

人材確保への取り組み

平成27年度 職員研修発表会報告

部会報告 看護・介護部会／リハビリ部会／
通所リハビリ部会／支援相談員部会／栄養部会

平成27年度 事業報告
県内老人保健施設協会会員施設紹介

介護老人保健施設の 理念と役割

〔理念〕

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、
生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

〔5つの役割と機能〕

I 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。
そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

II リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、
集中的な維持期リハビリテーションを行います。

III 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、
多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

IV 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどの
サービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

V 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。
市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。
また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協会

医療法人社団 和恵会 内

〒432-8061 静岡県浜松市西区入野町6417
TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201
www.rouken-shizuoka.jp





ご挨拶

静岡県健康福祉部福祉長寿局
福祉指導課長 田光 祥浩



ご挨拶

静岡県老人保健施設協会
会長 猿原 孝行

日頃より会員施設の運営にご理解、ご尽力を頂きこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

不規則ではありましたが平成27年1月1日より会長に就任し残された数ヶ月を経て昨年4月より本業務を本格的に行うこととなりました。

さて、積み残されていた大きな事業として「災害時における老人保健施設サービス継続のための連携等に関する協定書」に関する条項がありました。これについては会員諸氏のご協力を得て緊急時の連絡網の整備ができ報告する事ができました。

このように災害時対策も行いつつ、近い将来構築される「地域包括ケアシステム」の中で中核的役割を期待されていることから職員のス킬アップを目論み、各職員研修会や看護介護部会、リハビリ部会、通所リハビリ部会、支援相談員部会、栄養部会などを開催させて頂きました。いずれの会場でも会員施設の職員の白熱した議論が進み当協会の意識の高さに目を見張るものがありました。

地域包括ケアシステムの理念は「パーソン・セントラード・ケア」であります。文字通りに訳して「その人」を中心にしたケアを提供する、という意味かと思っています。

「パーソン・セントラード・ケア」は1970年頃にイギリスの「トムキットウッド」氏がそれまで高齢者ケアの場で提供されていた医学的なモ

静岡県老人保健施設協会の皆様には、本県の高齢者福祉行政の推進に当たり、日頃より御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

介護保険制度が創設されてから15年が経過しましたが、高齢化は一層進行し、本県の65歳以上の高齢者数については、昨年4月の時点で、初めて100万人を超えました。高齢化率は26.8%、4人に1人以上が65歳以上であり、このうち48%は75歳以上の後期高齢者が占めており、高齢者の中の高齢化は著しいものになっています。

さらには、高齢者世帯の増加や認知症高齢者の増加など、多くの課題に対応していく必要があります。

そのため、一般の介護保険制度改正では、医療、介護、予防、住まい及び自立した日常生活の支援を包括的に確保する地域包括ケアシステムの構築の実現を目指すものとなっています。

また、制度改正と併せて3年毎に見直される介護報酬の改定についても、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるため、中重度や認知症の方への対応強化や介護人材の確保など推進する一方、改定率は全体としてマイナス2.27%となり、事業者の皆様には大変厳しい内容となりました。

本県では、昨年3月に「ふじのくに長寿社会安心プラン」を策定し、介護サービスの充実を始め、総合的な認知症対策の推進など高齢者が必要

デルの中で指示命令形であったケアを鋭く批判し「その人」を中心としたケアを展開するケアを提唱しました。

認知症高齢者の尊厳を守る事により「新しい文化」が生まれるとも指摘しています。この哲学は瞬く間に世界に広まり今では多くの国が取り入れてその国の「高齢者ケア」の基本を担っています。

日本も地域包括ケアシステムの根幹の考えの中に、この「その人中心」という考えを入れて2025年に備えようとしています。

幸い老人保健施設ではその発足以来「その人」を中心としたケアの提供に動んできました。従い、会員老健におかれましては必ずや地域包括ケアシステムの中で中心的役割を期待されることになると思います。

残された任期の中で静岡県老人保健施設協会が真に新たな文化の担い手になるよう研鑽をするつもりです。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

なときに質の高いサービスを受けることができよう取り組んでいるところです。

「できる限り住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもつて自分らしい生活を送りながら老いていただく」ことが、地域包括ケアシステム構築の理念であり、在宅復帰支援機能と在宅療養支援機能の両者を併せ持つ介護老人保健施設は、地域包括ケアシステムの要の役割を果たされることを期待しております。

また、昨年、貴会の協力をいただき作成しました災害時の事業継続計画（BCP）の作成支援ツールも冊子として発行し、お手元にお届けすることができました。

国では、億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策の一つとして介護離職ゼロを掲げ、在宅施設サービス等の整備の充実・加速化、介護人材の確保を重点的取組に位置付けています。これらは、2025年までの10年のうち前半を目途に來年度以降本格的に取り組むことになりましたが、行政の力だけでは実現できるものではなく、引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴会及び貴会会員の皆様には、介護老人保健施設の理念と「5つの役割と機能」を踏まえ、高齢者の尊厳を守り、在宅生活を支える地域の拠点として、今後ますます御活躍いただきますようお願い申し上げます。

静岡県の介護老人保健施設における 災害への備え

静岡県老人保健施設協会と静岡県は、介護老人保健施設における災害対策の強化を円滑に推進するため、平成26年3月に協定の調印式を行いました。翌年4月には「介護施設における事業継続計画(BCP)作成支援ツール」が作成され、それに基づいて現在、各施設の災害対策計画の見直しを推進しています。今回はあらためてこのツールの内容を紹介し、現場レベルでの災害への備えについて整理します。



事業継続の視点を取り入れ、実際に活用できる防災計画にするために作成された「介護施設における事業継続計画(BCP)作成支援ツール」

「災害対策計画の見直し」 担当任せにしているませんか？

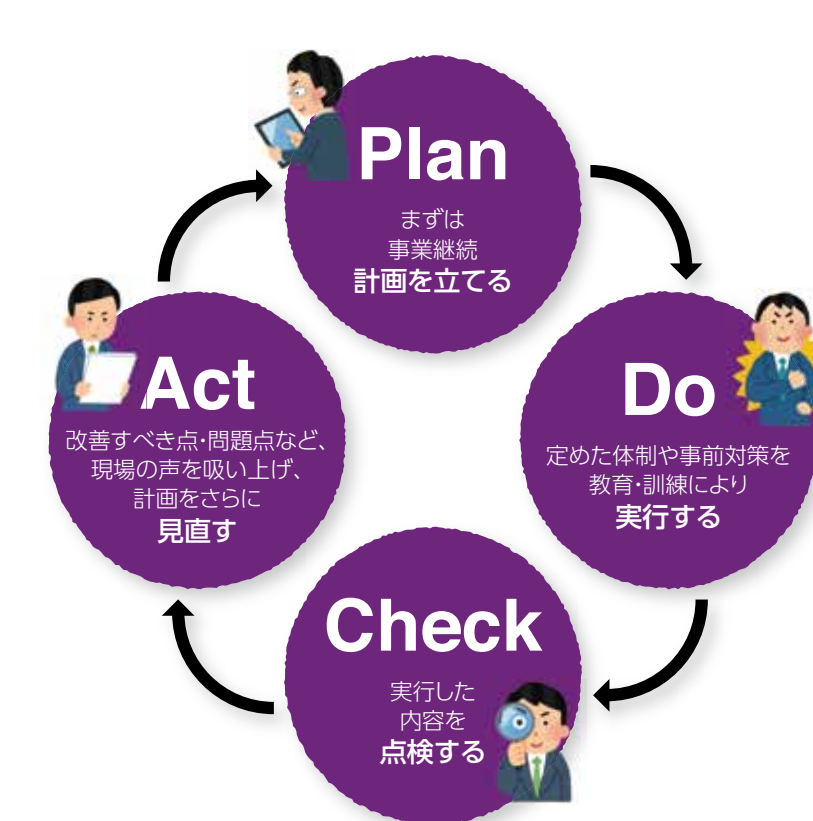
東日本大震災の発生から丸5年が経ちました。昭和50年代から「東海地震の発生が近づいている」と言われている静岡県では、震災を機に各方面でこれまで以上に地震・津波への災害対策が急務になっています。また近年では全国各地で風水被害などもあり、いざという時に慌てないためにも、誰もが平常時からあらゆる状況を想定し、緊急事態に誰がどのように動くのか、何を優先させて行動するのかをシミュレーションすることが大切だといわれています。

対策はつい後回しになりがちですが、防災管理者や担当者は何があっても利用者を守る」という強いリーダーシップを持って、計画・訓練・点検・見直しのサイクルを回す原動力となることが求められています。

事業継続計画 見直しのポイント

利用者や職員などの安全を確保するための対策を盛り込んだ防災計画や防災マニュアルも、大規模な地震発生に対しては活用が困難になるケースもあります。ヒト(職員)、モノ(施設や設備)、カネ(資金)、情報といった法人運営に欠かせない経営資源を通常時のようにには活用できなくなるからです。限られた経営

静岡県介護老人保健施設における災害対策としては、「介護施設における事業継続計画(BCP)作成支援ツール」を作成し、その活用を推進しています。ツールでは、各施設ですでに準備している災害対策計画を見直し、災害発生時の行動に加えて復旧までの「事業継続の視点」も含めた計画にするため、どのように計画を修正していけばよいのかをわかりやすく解説しています。



緊急事態において的確な決断を下すためには、あらかじめ対処の方策について検討を重ね、日頃から継続的に訓練し、被災時の状況をイメージしておくことが必要。

資源の中で、事業のうち、継続する必要がある事業と休止する事業に振り分け、継続する事業においても、継続する業務と休止する業務に分ける必要がありま

被害を受けても実施できるように対策を講じておくことにより、緊急事態が発生しても業務を続けられるようにします。

ためには、あらかじめ対処の方策について検討を重ね、日ごろから継続的に訓練し、被災時の状況をイメージしておくことが必要です。右の図のように、まずは計画を立てて、定めた体制や事前対

策を教育・訓練により実行し、その内容を検討し、見直すといったPDCAサイクルを回すことにより、緊急事態にスムーズに動けるよう、より良い計画に改善していきましょう。

チェック項目

- ☐ 法人役員が関与して基本方針を定めていますか。
最重要事項を決定する会議(理事会議など)の決議を経ていますか。
- ☐ 施設長がリードする体制となっていますか。
すべての職員に周知されていますか。
- ☐ 各部署から横断的に参画者を選んでいますか。
- ☐ 平常時から事前対策や教育・訓練、見直し・改善を確実にできる体制になっていますか。
- ☐ 研修などを通じて、職員にBCPの内容や運用体制を理解してもらっていますか。
- ☐ 事業継続を目的とした訓練(図上・実動)を計画、実施していますか。
- ☐ 点検・改善や見直しによって更新した内容を、職員に周知する仕組みがありますか。
- ☐ 教育・訓練を通じて明らかとなった問題点を整理し、BCPに反映していますか。
施設長は、点検・改善が十分に行われているか、チェックしていますか。
- ☐ 他事業所と「顔の見える関係」を構築できるような連携協定などを結んでいますか。
- ☐ 重要業務に影響を与えそうな災害・事故を漏れなく洗い出していますか。
- ☐ 事業継続の支障となるものを把握し、整理していますか。
その復旧にかかる時間・費用について客観的に把握していますか。
- ☐ 被災状況に応じて適切な対策が立てられていますか。
- ☐ ボトルネック(支障)解消のための事前対策を洗い出し、計画的に改善していますか。
- ☐ 重要情報のバックアップをしてありますか。
- ☐ すべての業務を対象に重要業務の候補を出していますか。
重要業務を選ぶための重み付けは適切ですか。
- ☐ 発生する可能性、発生時の影響度を検討して、対応の優先順位を決めていますか。
- ☐ 緊急時の体制・指揮命令系統を明確に決めてありますか。
- ☐ 各階層の責任者の代行者・代行順位を決めてありますか。
事業継続に欠かせない人材の代理者について検討し、確保策を立てていますか。
- ☐ 緊急時に必要な項目、対応手順について、時系列にわかりやすく整理してありますか。
- ☐ 災害対策本部の代替拠点、設置する基準、いつ、誰が、どこに、どのように立ち上げるか。決めてありますか。
- ☐ 事業継続に欠かせない設備・材料・サービスなどの代替性を確認し、確保策を立ててありますか。
- ☐ 職員の連絡網を作成してありますか。
連絡網で安否確認できない際の確認方法や仕組みを考えてありますか。
- ☐ 主要な連絡先を整理するとともに、事業所の状況など、情報を発信する準備をしてありますか。
- ☐ 職員分も含めた備蓄(水・食料など)を確保してありますか。
- ☐ 被災状況を確認する際のポイントを整理してありますか。

「介護施設における事業継続計画(BCP)作成支援ツール」に掲載されているチェックリスト

すでにマニュアルなど災害対策計画を整備している施設では、一から作り直す必要はなく、このリストをチェックし、不足している内容を追加したり、改善ポイントにしていけばより効果的な防災計画ができて上がる仕組みになっている。

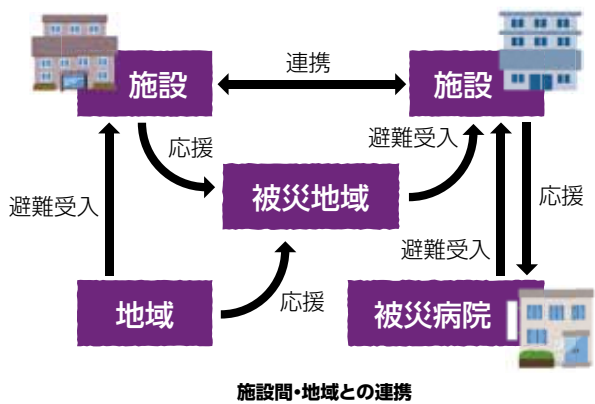
地域から求められる介護老人保健施設の機能と役割

お互いに助け合う 日ごろからの意識づけ

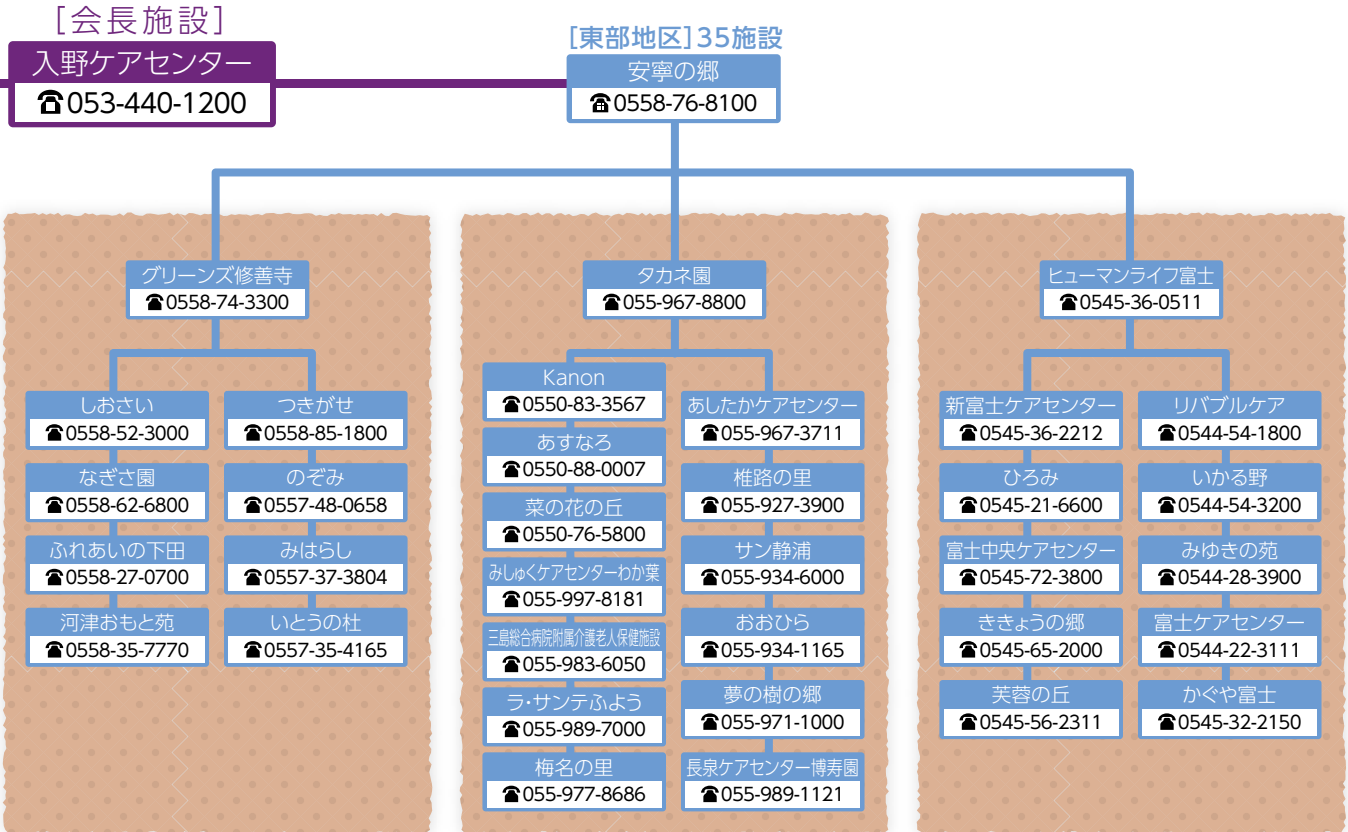
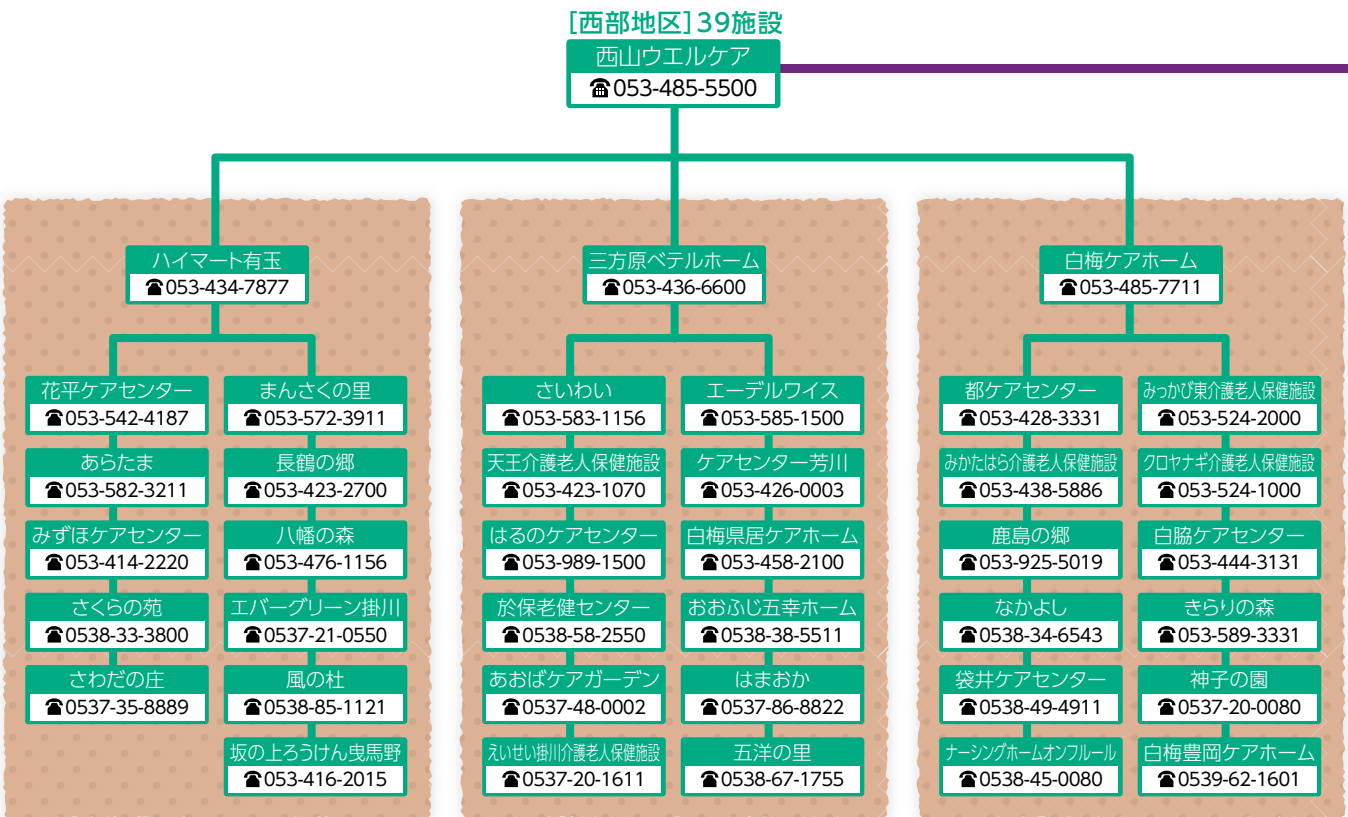
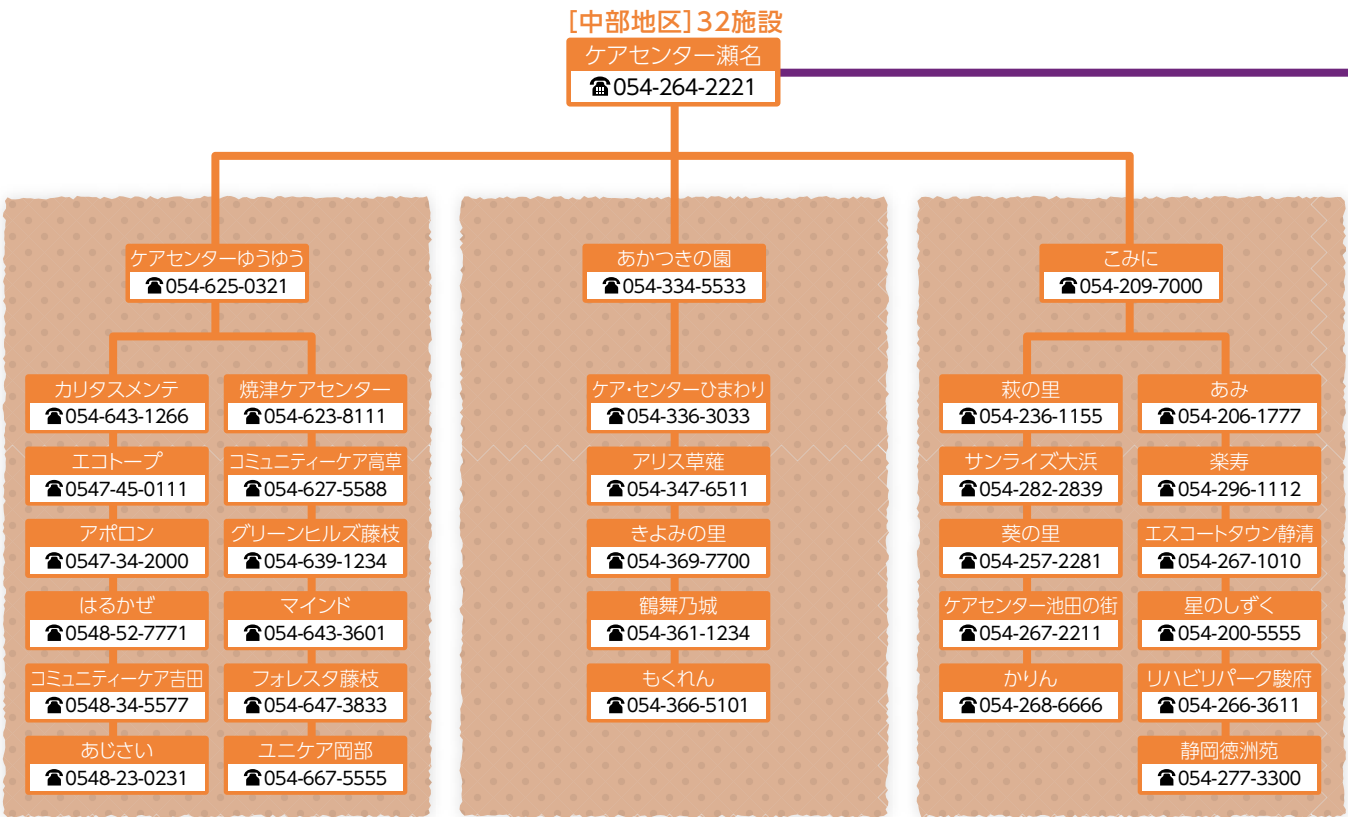
災害発生時には、水や食料の確保、利用者の日常生活介護などの面で、さまざまに支援が必要となります。このためには、施設が立地する地域社会と日ごろから連携をとり、いざという時に協力が得られる体制を確立しておくことが必要です。近隣の病院や開業医、他の社会福祉施設、地域の自主防災組織や商店などと、事前に協定等を結ぶなど、協力体制



を確立するとともに、平素の付き合いを心がけ、施設に対する理解を深めておくことが必要です。
阪神・淡路大震災では、社会福祉施設が一時的に地域住民の避難場所となったり、在宅の高齢者や障がい者の緊急拠点になるなど、施設は地域社会で大きな役割を果たしました。このため、自らの施設を「社会資源」として位置づけ、地域との結びつきを日常的に意識しながら、地域社会と施設がお互いに助け合う立場づくりを推進する必要があります。



静岡県老人保健施設協会 災害連絡体制組織図(平成27年度)



介護職員の離職防止・新規参入を促す 人材確保への取り組み

団塊の世代の方々が全て75歳となる2025年。
静岡県における介護人材の需給ギャップは、
およそ8700人※とされています。
今後必要な介護人材の確保のために、現在、
静岡県内で行われている施策についてご紹介します。

※「ふじのくに長寿社会安心プラン」(平成27年3月 静岡県)



全国トップクラスの健康寿命を誇る静岡県。他の都道府県と比べ、介護を必要としない自立した高齢者の割合が多いとはいえない、いずれは誰もが支援なしで不自由のない生活を送ることが難しくなります。また、団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年まで、あと10年を切り、介護予防も含めてより質の高い、多彩な介護・福祉サービスが求められています。そのためにも、介護・福祉サービスを支える人材の確保は重要な課題のひとつです。

まずは、若い世代の職員が長く働ける環境を整備する取り組みが重要です。静岡県では、介護職員が長く働きやすい環境をつくるため、能力、資格、経験に応じた給与・処遇体系を定めるキャリアパス制度の導入を支援する取り組みを推進しています。

他にも新たな人材の参入を促進するため、「介護の未来ナビゲーター」による介護職のイメージアップ作戦や、外国人介護人材の受け入れ、および外国人介護職員の日本語学習を支援する取り組みが行われています。

また全国老人保健施設協会では、職場や転職先で、その人のもつ知識とともに実践で通用するスキルを評価する共通のものさしとして、「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」への取り組みを積極的に推進しています。

共通のものさしでレベル認定

介護プロフェッショナルキャリア段位制度

事業所ごとに行われている職業能力評価に「キャリア段位制度」という共通のものさしを導入し、これに基づいて人材育成を目指すもの。これまでの資格制度で不足していた、実際にその現場で何ができるのかという部分を補うため、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面で評価します。静岡県の介護老人保健施設でのレベル認定者は3人(平成28年3月2日現在、アセッサーは42人平成27年11月25日現在)です。

問い合わせ先

一般社団法人 シルバースーパースタッフ振興会
電話受付10時～17時(土日祝休)
03-5402-4882
http://careprofessional.org

できる(実践的スキル)の評価基準

介護サービスを提供している事業所・施設において、一定の要件を満たした「アセッサー」が、介護職員の日ごろの仕様の様子や業務の記録等を見て評価します。

基本介護技術の評価	利用者視点での評価	地域包括ケアシステム&リーダーシップ
<ul style="list-style-type: none">入浴介助食事介助排泄介助移乗・移動・体位変換状況の変化に応じた対応	<ul style="list-style-type: none">利用者・家族とのコミュニケーション介護過程の展開感染症対策・衛生管理事故発生防止身体拘束廃止終末期ケア	<ul style="list-style-type: none">地域包括ケアシステムリーダーシップ

アセッサー講習を受講できる要件(平成27年度受講要件)

アセッサー講習を受講できる職員は次のいずれかの要件を満たした方です。

1	介護キャリア段位制度レベル4以上の者
2	介護福祉士として3年以上実務に従事した経験があり、かつ、介護福祉士実習指導者講習会を修了した者(介護福祉士養成実習施設実習指導者Ⅱの要件を満たす者)
3	実技試験に係る介護福祉士試験委員の要件に該当している者。具体的には、以下のいずれかに該当する者。 <ul style="list-style-type: none">① 介護福祉士、保健師、助産師又は看護師の資格を得た後10年以上実務に従事した経験等を有する者② 介護福祉士養成施設等(社会福祉士及び介護福祉士法第39条第1号から第3号までに規定する学校又は養成施設)において介護の領域の科目を5年以上教授又は指導した経験等を有する者
4	介護福祉士、保健師、助産師又は看護師の資格を得た後5年以上実務に従事した経験等を有し、介護技術講習指導者養成講習会を修了した者(介護技術講習指導者の指導者の要件を満たす者)
5	サービス提供責任者、主任等(チームやユニットを管理・運営し、部下に対して指導・助言を行う役割に就いている者)又は介護部門のリーダー(課長(係長)、フロアリーダー等)

わかる(知識)の評価基準

介護福祉士の資格取得や実務者研修・介護職員初任者研修の修了を通じて評価します。

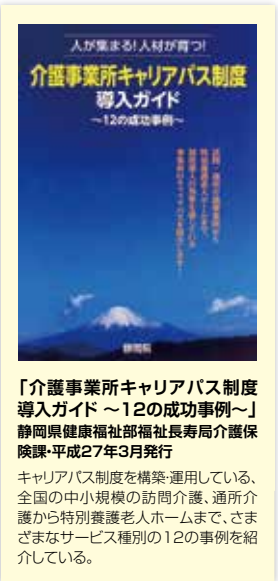
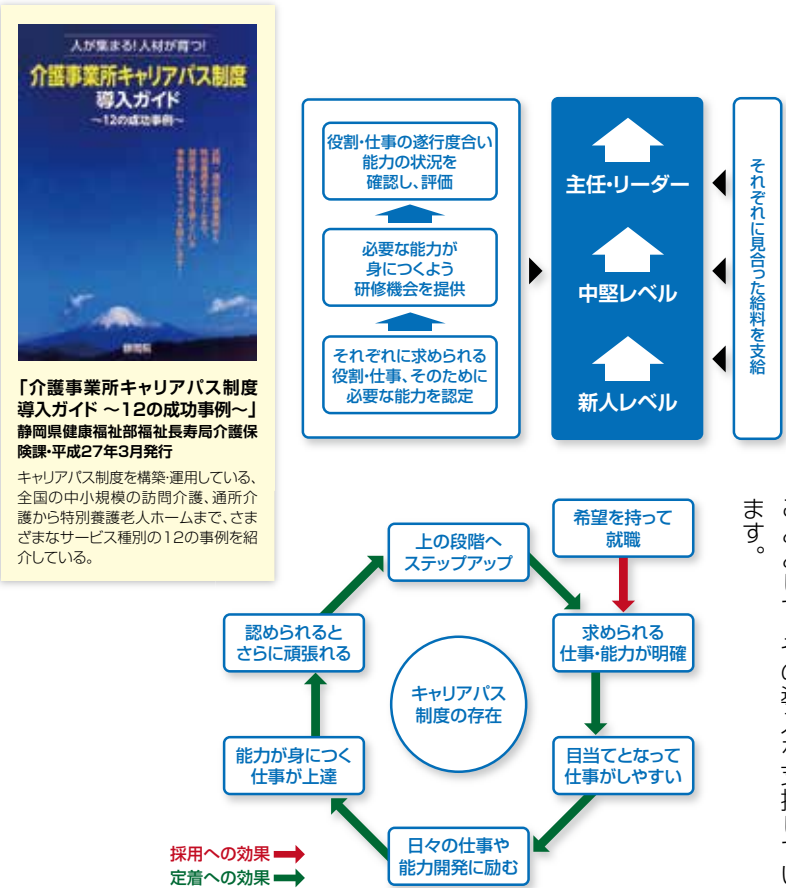
レベル4	介護福祉士であること(国家試験合格) ※介護福祉士養成施設卒業者について、国家試験の義務付け前においては、介護福祉士養成課程修了によりレベル4とする
レベル3	介護福祉士養成課程または実務者研修修了 ※介護職員基礎研修修了でも可
レベル2	レベル1と同様
レベル1	介護職員初任者研修修了 ※ホームヘルパー2級研修または1級研修修了も含む

介護事業所キャリアパス制度

長く働きやすい 環境づくりのために

静岡県では、平成24年度から、若い人たちが介護職に将来展望をもって働けるよう、介護事業所への「キャリアパス制度」の導入に取り組んでいます。「キャリアパス」とは、「職務経歴上の道筋」であり、一般企業でいえば、平社員→主任→係長→課長→部長...という役職のこと。

介護の現場では、役職の有無だけでなく、段階によって仕事の違いがあります。



「介護事業所キャリアパス制度導入ガイド～12の成功事例～」静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課・平成27年3月発行
キャリアパス制度を構築・運用している、全国の中小規模の訪問介護、通所介護から特別養護老人ホームまで、さまざまなサービス種別の12の事例を紹介している。

介護の未来ナビゲーター

若い世代へ介護職の魅力を発信

平成26年度より、県内の若手介護職員が、介護の未来ナビゲーターとして、介護職のイメージアップのための活動をしています(平成27年度27人)。たとえば福祉関係の大学で講義に参加したり、就職相談会にブースの出展をして、介護職のやりがいや魅力を発信しています。



介護職の魅力を発信するリーフレット「KAIGO NAVI」



木田 敦子さん
ケアワーカー
社会福祉法人 天竜厚生会
介護老人保健施設 さいせい



小泉 和也さん
介護福祉士
医療法人社団 平成会
介護老人保健施設 マインド



白鳥 里佳さん
ケアワーカー
湖山医療福祉グループ
医療法人財団 百葉の会
介護老人保健施設 星のしずく

ナビゲーターのうち、3人が介護老人保健施設の職員

外国人介護職員支援

国籍問わず、優秀な人材を確保

静岡県では、平成27年度より新たに、外国人介護人材の受け入れ準備セミナーと、外国人介護職員の読み書き向上のための日本語研修を実施しています。受入準備セミナーでは、外国人介護人材の現状や取り組み、受け入れ施設による実践報告などが行われました。

問い合わせ先

静岡県健康福祉部
福祉長寿局介護保険課
054-2221-2314



外国人介護職員のための日本語研修の様子



平成27年度 職員研修発表会

期日／平成27年11月13日(金) 13:30～16:30
会場／もくせい会館 富士ホール 静岡市葵区鷹匠3-6-1 TEL.054-245-1595 主催／静岡県老人保健施設協会

■演題発表 第1部 座長／生駒 裕子(西山ウエルケア 看護師長)

- ①20年目のリノベーション ～新たなケアスタイルを確立するまで～
梅名の里 支援相談員／長澤 由希子
- ②その人らしい排泄援助 ～オムツから尿器使用までのアプローチ～
ハイマート有玉 介護福祉士／鈴木 栄作
- ③前頭側頭葉型認知症の症例検討 ～適切なケアを目指して～
萩の里 介護福祉士／稲木 孝彦
- ④利用者様の笑顔を増やす為に ～レクリエーションを通じて利用者様との関わりを増やす～
入野ケアセンター 介護福祉士／西山 歩
- ⑤地域包括ケアシステムに向けた当デイケアの取り組み
ケアセンター池田の街 作業療法士／杉山 将



梅名の里
支援相談員／長澤 由希子



ハイマート有玉
介護福祉士／鈴木 栄作



萩の里
介護福祉士／稲木 孝彦



入野ケアセンター
介護福祉士／西山 歩



ケアセンター池田の街
作業療法士／杉山 将

■演題発表 第2部 座長／山下 恭子(入野ケアセンター 総師長)

- ⑥満足度アンケートの振り返り ～レクリエーションを通してQOLの向上を目指す～
みずほケアセンター 看護師／菊池 和枝
- ⑦料理クラブの取り組み ～施設生活で楽しみを作る為に～
なぎさ園 介護福祉士／小玉 あゆみ
- ⑧「活動」と「参加」の、自己による選択及び決定への第一歩
あみ 理学療法士／小柳津 恵 社会福祉士／近藤 薫
- ⑨給食方式を導入して見えたもの
梅名の里 通所リハビリテーションセンター 介護福祉士／小川 真理子



みずほケアセンター
看護師／菊池 和枝



なぎさ園
介護福祉士／小玉 あゆみ



あみ
理学療法士／小柳津 恵



あみ
社会福祉士／近藤 薫



梅名の里 通所リハビリテーションセンター
介護福祉士／小川 真理子



事業報告

平成27年度 静岡県老人保健施設協会 各職域部会・研修会開催状況

月 日	研 修 名	内 容	備 考
5月14日(木) 14:00～15:00	平成27年度 定期総会	平成26年度事業報告、歳入歳出報告、決算報告了承 平成27年度事業計画案、歳入、歳出予算案 災害協定に関して アンケート集計結果報告	もくせい会館 富士ホール
5月21日(木) ～22日(金)	第11回 東海・北陸ブロック 老健大会 石川	テ ー マ／超高齢社会に向き合う、老健のこれから 演 題／会員施設から7演題 記念講演／青木新門「いのちのバトンタッチ」 参 加 者／県会員施設から77名	金沢市文化ホール
6月19日(金) 13:30～15:00	第1回 職員研修会 全老健共済会共同開催	ビギナー研修 現場のモチベーション向上研修 ●モチベーションと職場の業績 ●安全についての理解 ●職場の人間関係構築方法の理解 参加者／43名	もくせい会館 第一会議室
9月2日(水) ～4日(金)	第26回 全国老人保健施設大会 神奈川	テーマ「高齢者が輝く未来を」 ～お洒落に! スマートな連携～ 座長派遣 施設は自由参加	パシフィコ横浜
11月13日(金) 13:30～17:00	第1回 職員研修発表会	演題発表 9演題 参加者／72名	もくせい会館 富士ホール
11月20日(金) 10:00～16:30	第1回 東海北陸ブロック研修会	①「危険予知訓練(KYT)の効果的な活用」 講師／インターリスク総研 岡村和弥様 ②「ホスピタリティマナー研修 好感を持たれる接遇」 講師 オフィス成旺 伊藤享子様 ③「排泄介助プロの技 おむつを装着してみよう」 講師 株式会社 光洋 高野真希様 参加者／県会員施設から7名	羽島市文化センター
12月3日(木) ～4日(金)	全体研修会 一泊実務者連絡会	全体研修会 介護報酬改定後における老健の役割 株式会社 ASK梓診療報酬研究所 中村梓様 実務者連絡会 静岡県老人保健施設協会役員の改選について 平成27年度 事業中間報告	KKRホテル熱海
10月27日(火) 2月17日(水)	通所リハビリ部会研修会	第1回 『目的志向型集団レクリエーション・ワーク』 第2回 『通所サービスに関わるリスクマネジメント研修』	椎路の里
11月 5日(木) 3月17日(木)	支援相談員部会研修会	第1回・第2回 『在宅復帰支援の現状や取り組み方、経過等について』	安寧の郷
11月 6日(金) 2月29日(月)	看護・介護部会研修会	第1回 『介護老人保健施設における看護・介護職員の連携』 第2回 『高齢者介護施設におけるポジショニング』	萩の里
11月10日(火)	栄養部会研修会	第1回 『老健における水分補給と嚥下食、防災備蓄について』	こみに
11月25日(水) 2月15日(月)	リハビリ部会研修会	第1回 『リハビリメニュー紹介』 第2回 『生活期リハビリテーションに活かすアセスメントの視点』	ケアセンター瀬名



平成27年度 [部会報告①]

看護・介護部会

第1回テーマ

『介護老人保健施設における看護・介護職員の連携』

第2回テーマ

『高齢者介護施設におけるポジショニング』

テーマ①

介護老人保健施設における看護・介護職員の連携

平成27年11月6日、静岡県総合研修所「もくせい会館」にて平成27年度第1回看護・介護部会を開催いたしました。「介護



老人保健施設における看護・介護職員の連携」をテーマに、静岡県立大学短期大学部教授 三富道子先生をお招きし、ご講義いただきました。



今回の研修会テーマは介護保険法制定時の介護老人保健施設の位置づけや変化していく介護老人保健施設の理念と役割について学ぶ事、また、看護・介護職員に必要とされる能力についてお互いに理解し、より良い連携につなげる事を目的としました。

参加者総数は62名で大変多くの看護・介護職員の方にご出席いただきました。共に刺激になり、連携する事の重要性を再確認することが出来ました。

加えて現在の初任者研修、介護福祉士の養成カリキュラムについても、「医療との連携」、「認知症の理解」に関する科目

が新設されたとの説明があり、今後の現場指導者には、より幅広い知識をもち新人教育にあたる事が重要視されます。そのためにも、看護・介護職員が一体となって、新人職員の教育に関わることが必要です。

なミーティングや意見交換会を開き、「コミニケーションの円滑化を図ることや、労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞くこと、経営者・管理者とスタッフが経営方針、ケア方針を共有する機会を設けることなど、さまざまな角度からご説明をいただきました。ぜひ、各施設にて実施していただければと思います。



テーマ②

高齢者介護施設におけるポジショニング

第2回看護・介護部会は、平成28年2月29日、静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて開催いたしました。静岡県立大学短期大学部 講師 木林身江子先生をお招きし、「高齢者介護施設におけるポジショニング」をテーマに拘縮や褥瘡の予防、また、安全安心な食事摂取をするためのポジショニングについてご講義いただきました。

普段、私達が日常的に行う食事・排泄・入浴等の行為も施設で過ごされる高齢者にとっては、体力的に困難になる場合が多々あります。また、今まで出来ていたことが出来なくなったことによる精神的ストレスも生じることでしょう。

施設で働く看護・介護職員にとって、これら両面からケアしていくことはとても大変なことと思いますが、今回の研修で学んだ内容を施設で実践していただき、質の良い介護サービスを追求していただければと思います。

今後も看護・介護部会では、研修会を通して現場に密着した内容を中心にお伝えしていく予定ですが、皆様からのご意見、ご要望等があれば参考にさせていただきますので、ぜひお聞かせください。



看護・介護部会DATA

[日時] 第1回 平成27年11月6日
[場所] もくせい会館

[日時] 第2回 平成28年2月29日
[場所] 静岡県総合福祉会館 シズウェル
[担当] 秋の星





平成27年度 [部会報告②]

リハビリ部会

第1回テーマ

『リハビリメニュー紹介』

第2回テーマ

『生活期リハビリテーションに活かすアセスメントの視点』



今年度のリハビリ部会は、第1回を平成27年11月25日、第2回を平成28年2月15日に開催いたしました。



第1回のリハビリ部会では、昨年同様、2部制にて開催し、38施設47名の療法士（理学療法士29名／作業療法士15名／介護職員3名）に参加していただきました。事前にアンケートで①特色のあるリハビリメニューの紹介②グループディスカッションで取り上げたい項目をそれぞれ挙げていただきました。第1部では代表の3施設にリハビリメニューを紹介していただき、第2部では、グループディスカッションを行いました。

第1部

リハビリメニュー紹介

第1部のリハビリメニュー紹介では、①こみに②あみ③まんさくの里の3施設にパワーポイントを使用して紹介していただきました。各施設において、ご利用者に積極的にリハビリやレクリエーションに参加していただく為のリハビリプログラムや癒しや安全を考慮した環境を提供していました。

新しいメニュー等の取り組みを考えている施設にとつて他施設

のリハビリメニューや取り組みの紹介が参考になっていただければと思います。



第2部

グループディスカッション

第2部のグループディスカッションでは、7〜8名のグループにわかれ、グループ毎にテーマを選択し自由にディスカッションをしていただきました。

今回のグループディスカッションでは、法改正後ということもあり、どのグループにおいてもリハビリマネジメント加算（特にリハビリマネジメント加算Ⅱの算定状況や運用方法）に関する意見交換や質問が多かった様です。また集団リハビリにおいて他職種との連携の状況や在宅復帰に関するテーマを選択しているグループもありました。

同じ職種の方と意見交換する機会も決して多くない中で、同じ老健で勤務する者同士、有意義な時間だったのではないのでしょうか。



当日配布された資料より、一部抜粋



リハビリ部会DATA
[日時]第1回 平成27年11月25日
[日時]第2回 平成28年2月15日
[担当]ケアセンター瀬名



欲が感じられ、会場内の皆様の業務に対する熱い期待が伝わってきました。

実際にその場面を想定すると様々な危険行為が予想され、確認・注意すべき点が多数ある事を知りました。又最後に、職員の動線からみるマネジメント(動線分析)として、出席者の各自職場の図面見取り図を書き、そこに朝の出勤時から終業時迄の自分の動線を書く実践を行いました。1日の流れの中で自分の動きに密度の濃い所や薄い所があり、その薄い所に危険予知が高まる場所である事、注意認識が欠けやすい場である事を把握する等、私達業務に関わる大切なポイントをリスクマネジメントとしてわかりやすく教えて頂き、大変有意義な研修を受ける事が出来ました。

第2部は、各施設の通所定員別やPT・OT等の職種に分かれたグループワークを行い、業務上の悩みや送迎・リハビリ・入浴・職員間の情報の共有等について、積極的な意見交換が行われました。どの出席者から多少でも向上しようという意



私達は制度改正に伴い国の方針も変わる中、その流れに沿ってより良いサービスを目指して実践して行かなければなりません。2回にわたる通所リハビリ部会が、様々な形で通所サービスに関わる職

員の皆様に愛されるサービスを提供施設として活躍できますよう、これからも支援していきたいと思っています。



平成27年度の通所リハビリ部会が、静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて平成27年10月27日に26施設36名の参加、又平成28年2月17日には、40施設51名の参加を頂き、2回にわたって開催されました。

第1回

第1回の部会では、「制度改正に伴う問題点や施設間の情報交換」及び「目的志向型集団レクリエーション・ワーク」をテーマに各施設の問題点等をグループ討論し、又事前に発表をお願いした7施設から利用者のニーズや心身機能の自立支援に向けた目的に添ったレクリエーションの取り組みを披露して頂きました。会場内は多種多様なレクリエーション内容に大変盛り上がり、出席者の皆様から「大変参考になりました。是非、自分たちの施設でやってみます。」という喜びの声が多く聞かれました。

第2回

第2回の部会では、第1部 講師の内田全城先生(常葉大学 健康科学部 静岡理療療法学科講師)による「通所サービスに関わるリスクマネジメント研修」を、送迎中心の内容で行いました。

送迎は外出支援であり、その外出支援に対し、危険性を防ぐ事が大切。事故は複数の要因が連鎖する事で発生する為、利用者を深く知り情報を職員間で共有する事の手段や、危険予知能力を強化する為に日頃から危険予知訓練(KYT)を実践して、危険を発見・予測する能力向上に向け、送迎サービス時の各場面を題材に、職員間で定期的に取組む事が望ましい事等を話して頂きました。



平成27年度 [部会報告③]

通所リハビリ部会

第1回テーマ

『目的志向型集団レクリエーション・ワーク』

第2回テーマ

『通所サービスに関わるリスクマネジメント研修』

通所リハビリ部会DATA

【日時】第1回 平成27年10月27日
【場所】静岡県総合福祉会館 シズウェル
【日時】第2回 平成28年2月17日
【場所】静岡県総合福祉会館 シズウェル
【担当】椎路の里





- 職員教育も含め職員の不安解消を図るため施設内での研修を繰り返し行う。
- 従来型においても職員充足されない中、在宅復帰支援に向けて踏み切れない。
- 退所をギリギリまで延ばさざるを得ない等条件を満たすための苦労あり。

その他にも『新規入所者の確保』、『ベッドコントロール』等多くの意見交換がされました。

総括として、在宅強化・在宅復帰型施設に移行していく必要性は理解している反面、各関係機関やご家族への周知、職員体制の構築、稼働率問題等々：現状ではまだ取り組みが厳しいという施設の意見が多く聞かれました。

これからの老健について、今一度、本来あるべき老健の役割や理念を見つめ直し『復帰』という一面だけを捉えるのではなく、支援の継続を地域連携とともにしつつ、世の中の動向を読みながら変化していかねばならないと感じました。



平成27年度 [部会報告④]

支援相談員部会

第1回・第2回テーマ

『在宅復帰支援の現状や取り組み方、経過等について』

平成27年11月5日、静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」にて平成27年度第1回支援相談員部会が開催されました。参加施設46、参加人数56名の参加者で東部・中部・西部と地域性を考慮して地区分けし近隣施設で10グループにて実施しました。

まず現在の関心事である在宅復帰支援の現状や取り組み方、経過等について「在宅強化型施設から萩の里・三方原ベテルホーム」、「在宅復帰加算型施設から梅名の里よりご講義いただきました。

- ◎主な内容として
- 入所相談時から家族に基本3ヶ月後の在宅復帰を目指すことを伝え、入所した時に退所日を設定していく。
- 家族状況に合ったサービス提



供や在宅復帰後の不安解消のため24時間電話対応とした。



- 外部講師を招き、また見本となる施設見学を実施する等職員への周知徹底を行う。
- 各病院や居宅へ在宅復帰を繰り返し説明。

続いているグループワークでは、日々抱えている問題や今後の方向性についてフリーテーマで意見交換を行いました。

- ◎主な内容として
- 実施していくには確固たるトップダウンと薬価、精神科薬等を必要に応じ問口を広げていくことが必要。



支援相談員部会DATA
 [日時] 第1回 平成27年11月5日
 [場所] 静岡県総合社会福祉会館 シズウェル
 [担当] 安寧の郷



- 保管場所は立地条件によつて様々。多くの施設が保管スペースに悩んでいる。
- ↓ 屋外、屋上倉庫、また敷地内でも倉庫が遠く、取りに行くのが大変な施設もある。
- 津波の可能性が高い施設は施設内上層階に分けて保管している。
- ↓ エレベーター、階段が使えなくなった時の不安も有り。
- 利用者の状態に合わせた食事が困難。常食以外の対応が難しい。
- 基本、そのまま食べられる物を備蓄しているが、温めないと美味しくないのである。
- 飲水用に紙コップがあるが、ご利用者が上手に使えるか心配。
- 保管場所を知らない職員がいる。他職種へ防災用備蓄の周知が必要。
- 災害時に実際に提供できるか不安。



水分の役割から冬のインフルエンザの予防対策、治療・予防方法、ヒト試験の事例を交えたイオン飲料による水分補給の好影響、マスクの着用による効果など今年活かせる内容を講演していただきました。

水分補給とウイルス対策

(大塚製薬株式会社 管理栄養士 飯田蘭子様)

テーマ①

栄養部会

第1回テーマ

『老健における水分補給と嚥下食、防災備蓄について』

平成27年11月10日(火)静岡県総合福祉会館「シズウェル」にて、34施設38名の参加をいただき、栄養部会が開催されました。老健における水分補給と嚥下食、防災備蓄についてをテーマに、大塚製薬株式会社より講義をしていただき、グループディスカッションでは防災備蓄について意見交換を行いました。この栄養部会をきっかけに他施設とも交流を持ち、老健施設全体が繋がりを持てれば良いと思います。

テーマ②

栄養補助食品による栄養補給

(大塚製薬株式会社 サプリメントアドバイザー 粟津尊文様)

高齢者の栄養不足の問題に対してタンパク質(BCAA)の必要性を基に他県の高齢者施設の使用事例の資料を題材として、講演していただきました。



◎その他

- 1日目は停電を考え、冷凍冷蔵庫内の食材を優先して使うように徹底している。
- アルファ米はふつつの米と半々で炊くと美味しいという情報有り。
- 発電機の使い方など、全職員が分かるようにしたい。
- 賞味期限が切れる前に炊き出し訓練を実施している。
- 賞味期限の切れる半年前に職員に低価格で販売し、次回の購入費にあてた。
- 雪で交通が止まった時に、指示のない中で備蓄の使用に困った事がある。
- 災害時は職員だけでは厳しい。自治体の協力がほしい。
- 委託側として、施設に非常食(防災)の理解を得るのが大変なケースも。事務長クラス対象の防災研修を開催できないか。

◎各施設備蓄食品情報

- アルファ米(白米、五目御飯等)、粥、梅鮭等)
- パン缶詰
- 味噌汁、豚汁缶、コンスープ
- レトルトカレー、クリームシチュー、ビーフシチュー、ラーメン
- おかず缶、鯖、焼き鳥、まぐろ、いわし、さんま、牛肉すき焼き、かぼちいとい煮、ひじき煮等)
- サラダ(ポテト、ごぼう、コーン等)
- えいようかん
- チョコレート
- ビスコ缶

テーマ③

グループディスカッション

A～Fの6グループで、各施設の防災備蓄に関して情報交換を行いました。

◎現在の施設の防災用備蓄食品に関して

- 3日分～5日分入所者分の備蓄を準備している所が多い。
- ↓ 1週間分用意している施設はコスト、保管スペースの問題上、殆ど無い。
- 通所リハビリテーション分は準備していない施設が多い。
- ↓ 通所リハビリテーション提供中の発災も考えると本音は準備したい。
- 経営栄養や補助食品のストックを多めにしている。
- 普段使う物(フルーツ缶等)で、非常時に役立つものを多めに用意している。
- 職員分は準備していない施設が多い。また、職員は自分で用意すると決めている所もある。

テーマ④

震災に備える防災備蓄

(大塚製薬株式会社 古川 晶様)

※ ふじのくに防災士

- サバイバルフード
- フルーツ缶
- メイバランス等
- カロリーメイト
- トロミ剤
- 保存水、ジュース



2011年の東日本大震災からどのような備蓄食材が好まれるのか、実際現場ではどのような食材が配給されて、そこでのどのような問題があったかなど東海大地震に備えて貴重な情報を基に備蓄方法や備蓄事例などの紹介をしながら講演していただきました。



- ↓ 職員用を準備している施設は、保存期間が長いサバイバルフード(保存期間25年)を準備している所もある。
- 種類が多くなると管理が大変なので、シンプルにレトルトカレーと粥だけの施設もある。
- 卓上コンロ、バーベキュー用のコンロ、ガスボンベを用意している。
- 使い捨て食器とラップは多めに備蓄している。

◎現在備蓄している食品の問題点

- 賞味期限が切れる前に、日常の献立にて消化したが、利用者からは具が大きい、不味い和不評。施設によっては味付けを変えて提供している所も。また缶詰は開ける作業が大変だった。
- ↓ ローリングストック法を実践している施設からの問題点だが、逆に「非常食だから」と割り切つて食事として提供している施設もある様子。
- 地域住民が避難してくる可能性が高いが、その分の備蓄が無い。

防災時備蓄食に求められる条件

発災直後の機動性(初動)に優れる備蓄用食品

栄養バランスと付加価値の提案

- ① 栄養バランスと付加価値
- ② 機動性の機動性(配付時の機動性)
- ③ 保管スペース
- ④ 配付のしやすさ
- ⑤ 衛生・安全性(アレルギー対応)
- ⑥ 備蓄が安い……?

保存食への要求条件

保存性	取扱い易さ	経済性
● 室温で長期保存可能(3年以上) ● 災害時の保存・運搬の容易さ	● 開封・保存の簡便さ ● 開封性	● 低コスト・価格 ● 少量・少量 ● 少量・少量

食べ易さ

- 少量・少量
- 少量・少量
- 少量・少量

従来の保存食としての代表食品「乾パン」
保存性、経済性においては満足できるものの、食べやすさでは課題を有する食品。美味しさを不足

美味しい防災食の見分ける

事前に缶や缶詰のラベルをしっかりと読む。入所者の食に合う商品を知り、食前から食べるのが備蓄する際のポイント。

加熱不要で尚かつ歯の悪い利用者でも食べる事が出来るものが有れば教えてほしい

レトルトの缶や缶詰のパンは加熱しなくても美味しく食べる事が出来るので、多めに備蓄する。

その他、パンタイプやゼリータイプの栄養補助食品が便利。

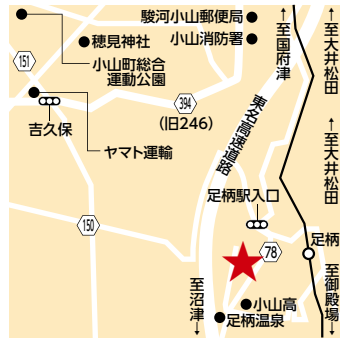


栄養部会DATA
[日時] 第1回 平成27年11月10日
[場所] 静岡県総合福祉会館 シズウェル
[担当] こみち

県内新規会員介護老人保健施設紹介

木と人の温もりのある「丘」で安心という名の花を咲かせよう!!

「老健 菜の花の丘」は平成27年9月にオープンした複合介護施設です。「介護付き有料老人ホーム」「通所リハビリ」「短期入所生活介護」を併設し、介護施設としては、日本最大規模の木造耐火建築です。西には富士山、南には金時山が眺望でき、敷地内の人工芝フットサルコートからは、笑い声の間こえる施設です。「豊かな自然の中で、地域と世代をつなぐお手伝い」をモットーに、多職種協働してご支援させていただきたいと思っております。



医療法人社団 青虎会
介護老人保健施設 菜の花の丘
☎0550-76-5800 FAX 0550-76-5804
[所在地]〒410-1313 駿東郡小山町竹之下321番地
●開設/平成27年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名
●短期入所生活介護 定員/24名 ●介護付き有料老人ホーム定員/90名
●面会時間/8:00-20:00



家族の愛 私たちが支えます。

浜松市の街中にありながら深い緑に囲まれた心安らぐ環境で、在宅復帰に向けてのお手伝いをいたします。同一法人が運営する医療機関(外来、訪問診療、短期入院)、介護事業所、有料老人ホームと連携し、ご利用者・ご家族の皆様が、快適に自分らしい日常生活を送れるよう支援いたします。



医療法人社団 心
介護老人保健施設 坂の上ろうけん曳馬野
☎053-416-2015 FAX 053-416-2025
[所在地]〒433-8123 静岡県浜松市中区幸4丁目36-3
●開設/平成27年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名
●短期入所療養介護サービス(ろうけん100床中、空床利用20床)、通所リハビリテーションサービス(定員20名)
●面会時間/8:30-20:00



“心にとどく介護” 多様なニーズに応えて チームケアを実践!

「介護老人保健施設 静岡徳洲苑」は平成24年6月オープンいたしました。当施設は、葵区牧ヶ谷にあり隣接に静岡西高校、安倍川沿いに位置し地域環境に恵まれたところにあります。在宅から看取りまで多様なニーズに応えて、多職種協働で生活機能の維持・向上をめざし、安心できる任せられるケアサービスを提供させていただいております。多くの方の笑顔に出会い支えられて、これからも地域と共に、より良い施設づくりに努めて参ります。



医療法人 沖縄徳洲会
介護老人保健施設 静岡徳洲苑
☎054-277-3300 FAX 054-277-3305
[所在地]〒421-1221 静岡県静岡市葵区牧ヶ谷811-15
●開設/平成24年6月 ●入所定員/100名(短期入所含む) ●通所定員/18名
●多床室(4人室)20室、2人室5室、個室10室
●面会時間/8:00-19:30



その人らしさを大切にします。

介護老人保健施設あじさいは平成26年4月にオープンいたしました。東は悠久の大井川、南に駿河湾を望み、西には牧之原台地がそびえる閑静な住宅地に位置しています。また、協力病院である榛原総合病院から徒歩5分という立地にあり、地域の皆様に必要なとされる老健として、利用者様の意思・人格を尊重し、その人らしさを大切に介護・看護・医療サービスの提供を心掛けております。全職員で利用者様の生活を支えることをモットーに、皆様から信頼され安心して利用していただける施設となるよう努めてまいります。



医療法人 沖縄徳洲会
介護老人保健施設 あじさい
☎0548-23-0231 FAX 0548-23-0235
[所在地]〒421-0421 静岡県牧之原市細江3208-1 [URL]http://www.roken-ajisai.com/
●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名(短期入所含む) ●通所定員/20名
●個室12室、多床室(4人室)22室 [一般]個室8室、多床室13室 [認知症]個室4室、多床室9室
●面会時間/9:00-20:00



24

医療法人社団 富士恵仁会

いかる野

☎0544-54-3200 📠0544-54-3201

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原709

●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

25

伊東市介護老人保健施設

みはらし

☎0557-37-3804 📠0557-37-6678

[所在地] 〒414-0055 伊東市岡187

●開設/平成18年4月 ●入所定員/125名 ●通所定員/30名

26

医療法人社団 辰五会

ふれあいの下田

☎0558-27-0700 📠0558-27-1117

[所在地] 〒415-0013 下田市柿崎32-10

●開設/平成18年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

27

医療法人 啓仁会

いとうの杜

☎0557-35-4165 📠0557-35-4101

[所在地] 〒414-0002 伊東市湯川288-9

●開設/平成18年11月 ●入所定員/137名 ●通所定員/60名

28

独立行政法人地域医療機能推進機構
三島総合病院附属介護老人保健施設

☎055-983-6050 📠055-983-6070

[所在地] 〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276

●開設/平成13年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

29

医療法人社団 静寿会

かぐや富士

☎0545-32-2150 📠0545-31-1433

[所在地] 〒417-0826 富士市中里2546-7

●開設/平成20年10月 ●入所定員/90名 ●通所定員/50名

30

医療法人社団 愛康会

あしたかケアセンター

☎055-967-3711 📠055-967-3727

[所在地] 〒410-0875 沼津市今沢字西畑372-5

●開設/平成20年9月 ●入所定員/75名 ●通所定員/40名

31

医療法人社団 喜生会

新富士ケアセンター

☎0545-36-2212 📠0545-36-2343

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵字大峯3898-1

●開設/平成22年8月 ●入所定員/104名

32

社会福祉法人 秀生会

富士中央ケアセンター

☎0545-72-3800 📠0545-72-3803

[所在地] 〒419-0201 富士市厚原372-1

●開設/平成25年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

33

共立蒲原総合病院組合

芙蓉の丘

☎0545-56-2311 📠0545-56-2711

[所在地] 〒421-3306 富士市中之郷2500-1

●開設/平成13年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名

34

医療法人全心会 介護療養型老人保健施設

老健 つきがせ

☎0558-85-1800 📠0558-85-1801

[所在地] 〒410-3215 伊豆市月ヶ瀬380-2

●開設/平成26年2月 ●入所定員/57名

35

医療法人社団 青虎会

介護老人保健施設 菜の花の丘

☎0550-76-5800 📠0550-76-5804

[所在地] 〒410-1313 駿東郡小山町竹之下321

●開設/平成27年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

12

医療法人社団 志仁会

ラ・サンテふよう

☎055-989-7000 📠055-989-7005

[所在地] 〒411-0047 三島市佐野1205-3

●開設/平成9年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/80名

13

医療法人社団 望洋会

のぞみ

☎0557-48-0658 📠0557-48-0655

[所在地] 〒414-0001 伊東市宇佐美中里2405-2

●開設/平成11年2月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

14

医療法人社団 仁信会

みゆきの苑

☎0544-28-3900 📠0544-25-3939

[所在地] 〒418-0005 富士宮市宮原337-4

●開設/平成11年4月 ●入所定員/109名 ●通所定員/70名

15

医療法人社団 鳳林会

河津おもと苑

☎0558-35-7770 📠0558-35-7771

[所在地] 〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18

●開設/平成11年9月 ●入所定員/50名 ●通所定員/12名

16

医療法人社団 健育会

しおさい

☎0558-52-3000 📠0558-52-5577

[所在地] 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1

●開設/平成12年3月 ●入所定員/50名 ●通所定員/30名

17

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス

なぎさ園

☎0558-62-6800 📠0558-62-7255

[所在地] 〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674

●開設/平成13年4月 ●入所定員/80名 ●通所定員/20名

18

医療法人社団 広見会

ひろみ

☎0545-21-6600 📠0545-21-1003

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵39-1

●開設/平成14年4月 ●入所定員/90名 ●通所定員/40名

19

日本赤十字社静岡県支部

グリーنز修善寺

☎0558-74-3300 📠0558-74-3302

[所在地] 〒410-2413 伊豆市小立野100-2

●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

20

医療法人社団 勝友会

サン静浦

☎055-934-6000 📠055-934-8288

[所在地] 〒410-0106 沼津市志下344-1

●開設/平成14年2月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

21

医療法人社団 愛康会

椎路の里

☎055-927-3900 📠055-927-3700

[所在地] 〒410-0302 沼津市東椎路32-1

●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/100名

22

医療法人社団 敬寿会

夢の樹の郷

☎055-971-1000 📠055-971-1003

[所在地] 〒411-0902 駿東郡清水町玉川1183-1

●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

23

医療法人社団 榮紀会

みしゅくケアセンターわか葉

☎055-997-8181 📠055-997-8302

[所在地] 〒410-1107 裾野市御宿1475

●開設/平成15年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

6

医療法人社団 敬寿会

安寧の郷

☎0558-76-8100 📠0558-76-8101

[所在地] 〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44

●開設/平成6年5月 ●入所定員/150名

7

社会福祉法人 静和会

梅名の里

☎055-977-8686 📠055-977-8090

[所在地] 〒411-0816 三島市梅名578

●開設/平成6年8月 ●入所定員/100名 ●通所定員/66名

8

医療法人社団 聡誠会

長泉ケアセンター博寿園

☎055-989-1121 📠055-988-6565

[所在地] 〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1

●開設/平成7年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

9

医療法人社団 真養会

おおひら

☎055-934-1165 📠055-932-7934

[所在地] 〒410-0821 沼津市大平1117-1

●開設/平成7年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

10

医療法人社団 青虎会

あすなろ

☎0550-88-0007 📠0550-88-1101

[所在地] 〒412-0045 御殿場市川島田1076-2

●開設/平成7年5月 ●入所定員/199名 ●通所定員/120名

11

医療法人財団 百葉の会

ききょうの郷

☎0545-65-2000 📠0545-65-2001

[所在地] 〒416-0946 富士市五島175

●開設/平成9年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名

1

医療法人社団 富士恵仁会

リバブルケア

☎0544-54-1800 📠0544-54-0522

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原682

●開設/平成2年4月 ●入所定員/72名 ●通所定員/40名

2

医療法人社団 愛康会

タカネ園

☎055-967-8800 📠055-967-3600

[所在地] 〒410-0305 沼津市鳥谷611-1

●開設/平成3年8月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名

3

医療法人社団 康生会

Kanon

☎0550-83-3567 📠0550-82-3887

[所在地] 〒412-0043 御殿場市新橋1175-1

●開設/平成4年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

4

医療法人社団 喜生会

ヒューマンライフ 富士

☎0545-36-0511 📠0545-36-2677

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵3901-1

●開設/平成5年7月 ●入所定員/195名 ●通所定員/60名

5

一般財団法人富士心身リハビリテーション研究所

富士ケアセンター

☎0544-22-3111 📠0544-22-3907

[所在地] 〒418-0035 富士宮市星山1129

●開設/平成6年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名

会員施設一覧 東部地区

24 | 老健しずおか

老健しずおか | 23

会員施設一覧 中部地区

21 医療法人社団平成会
マインド

☎054-643-3601 📠054-643-3602
[所在地] 〒426-0075 藤枝市瀬戸新屋487-2
●開設/平成15年11月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名



22 医療法人社団源和会
フォレストアサギ

☎054-647-3833 📠054-647-3831
[所在地] 〒426-0033 藤枝市小石川町2-8-13
●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/53名



23 医療法人社団聖雄会
かりん

☎054-268-6666 📠054-268-6660
[所在地] 〒421-0105 静岡市駿河区宇津ノ谷1-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名



24 医療法人社団 宝徳会
ケアセンター池田の街

☎054-267-2211 📠054-267-2700
[所在地] 〒422-8005 静岡市駿河区池田185-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/110名 ●通所定員/60名



25 医療法人財団 百葉の会
鶴舞乃城

☎054-361-1234 📠054-361-0800
[所在地] 〒424-0114 静岡市清水区庵原町3158
●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名



26 医療法人 志太会
ユニケア岡部

☎054-667-5555 📠054-667-3623
[所在地] 〒421-1131 藤枝市岡部町内谷1473-3
●開設/平成15年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名



27 医療法人社団アール・アンド・オー
エスコートタウン静岡

☎054-267-1010 📠054-267-1060
[所在地] 〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1
●開設/平成19年9月 ●入所定員/120名 ●通所定員/80名



28 医療法人財団 百葉の会
星のしずく

☎054-200-5555 📠054-200-5558
[所在地] 〒420-0805 静岡市葵区城北87
●開設/平成24年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名



29 医療法人 杏林会
リハビリパーク駿府

☎054-266-3611 📠054-266-3613
[所在地] 〒420-0873 静岡市葵区藤上8-6
●開設/平成24年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名



30 医療法人社団 健寿会
もくれん

☎054-366-5101 📠054-366-5102
[所在地] 〒424-0104 静岡市清水区草ヶ谷字クツツウヶ谷624-22
●開設/平成22年4月 ●入所定員/158名 ●通所定員/0名



31 医療法人 沖縄徳洲会
あじさい

☎0548-23-0231 📠0548-23-0235
[所在地] 〒421-0421 牧之原市細江3208-1
●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名



32 医療法人 沖縄徳洲会
静岡徳洲苑

☎054-277-3300 📠054-277-3305
[所在地] 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷811-15
●開設/平成24年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/18名



9 医療法人社団 正心会
ケアセンターゆうゆう

☎054-625-0321 📠054-625-0322
[所在地] 〒425-0052 焼津市田尻4
●開設/平成9年4月 ●入所定員/97名 ●通所定員/100名



10 医療法人社団 平成会
カリタス・メンテ

☎054-643-1266 📠054-643-1289
[所在地] 〒426-8662 藤枝市水上123-1
●開設/平成9年5月 ●入所定員/50名 ●通所定員/20名



11 医療法人社団 聖観会
グリーンヒルズ藤枝

☎054-639-1234 📠054-639-1255
[所在地] 〒426-0133 藤枝市宮原420-1
●開設/平成10年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/75名



12 医療法人社団 共生会
エコトープ

☎0547-45-0111 📠0547-45-0112
[所在地] 〒428-0007 島田市島534-1
●開設/平成10年10月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名



13 医療法人社団 健社会
アポロン

☎0547-34-2000 📠0547-34-2358
[所在地] 〒427-0047 島田市中満町1714-1
●開設/平成11年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/45名



14 医療法人社団 博恵会
アリス草薙

☎054-347-6511 📠054-347-6565
[所在地] 〒424-0886 静岡市清水区草薙424-7
●開設/平成11年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/95名



15 医療法人社団 秀慈会
萩の里

☎054-236-1155 📠054-236-1177
[所在地] 〒422-8018 静岡市駿河区西大谷12-5
●開設/平成12年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/85名



16 医療法人社団 あけぼの
はるかぜ

☎0548-52-7771 📠0548-52-7781
[所在地] 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷1240-1
●開設/平成12年3月 ●入所定員/80名 ●通所定員/40名



17 静岡県厚生農業協同組合連合会
きよみの里

☎054-369-7700 📠054-360-4100
[所在地] 〒424-0203 静岡市清水区興津東町1829
●開設/平成12年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/55名



18 医療法人社団 静寿会
葵の里

☎054-257-2281 📠054-268-5221
[所在地] 〒421-0135 静岡市駿河区小坂376-1
●開設/平成12年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名



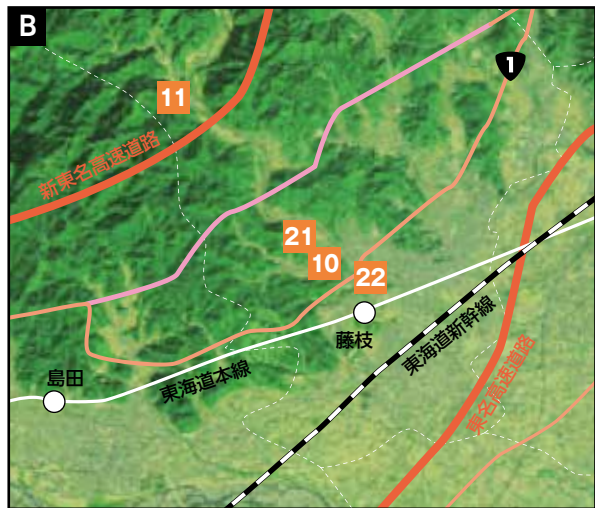
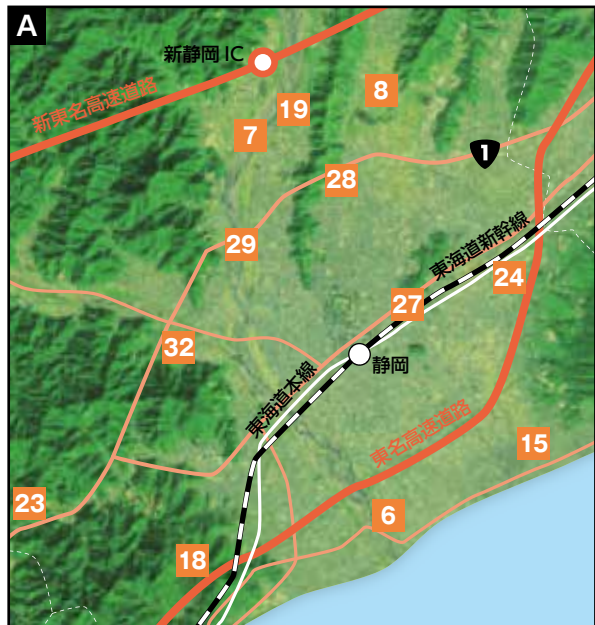
19 医療法人社団 松笑会
あみ

☎054-206-1777 📠054-206-1717
[所在地] 〒421-2109 静岡市葵区福田ヶ谷73-2
●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名



20 医療法人社団 駿甲会
コミュニティケア吉田

☎0548-34-5577 📠0548-34-5578
[所在地] 〒421-0302 榛原郡吉田町川尻1700-1
●開設/平成15年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名



5 医療法人社団 駿甲会
コミュニティーケア高草

☎054-627-5588 📠054-627-9988
[所在地] 〒425-0005 焼津市方ノ上358-1
●開設/平成8年4月 ●入所定員/84名 ●通所定員/115名



6 医療法人社団 宏整会
サンライズ大浜

☎054-282-2839 📠054-281-8245
[所在地] 〒422-8045 静岡市葵区西島528
●開設/平成8年5月 ●入所定員/121名 ●通所定員/20名



7 社会福祉法人 楽寿会
楽寿

☎054-296-1112 📠054-296-1313
[所在地] 〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11
●開設/平成8年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名



8 医療法人社団 博整会
こみに

☎054-209-7000 📠054-209-7007
[所在地] 〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16
●開設/平成9年4月 ●入所定員/186名 ●通所定員/75名



1 医療法人社団 恒仁会
ケアセンター瀬名

☎054-264-2221 📠054-264-8100
[所在地] 〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5
●開設/平成元年6月 ●入所定員/200名 ●通所定員/70名



2 医療法人社団 清仁会
あかつきの園

☎054-334-5533 📠054-334-1121
[所在地] 〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1
●開設/平成3年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/10名



3 医療法人社団 清秀会
ケア・センター ひまわり

☎054-336-3033 📠054-336-3035
[所在地] 〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34
●開設/平成5年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名



4 医療法人社団 綾和会
焼津ケアセンター

☎054-623-8111 📠054-623-8116
[所在地] 〒425-0062 焼津市中根新田1315
●開設/平成7年3月 ●入所定員/150名 ●通所定員/63名



29

医療法人社団 藤友五幸会

五洋の里

☎0538-67-1755 📠0538-67-1756

[所在地] 〒438-0234 磐田市掛塚3190-1

●開設／平成18年7月 ●入所定員／90名 ●通所定員／40名

30

医療法人社団 拓己会

長鶴の郷

☎053-423-2700 📠053-423-2711

[所在地] 〒435-0031 浜松市東区長鶴町290

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／45名

31

医療法人社団 敬徳会

あらたま

☎053-582-3211 📠053-582-3333

[所在地] 〒434-0004 浜松市浜北区宮口3152

●開設／平成18年9月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

32

医療法人社団 恵成会

えいせい掛川介護老人保健施設

☎0537-20-1611 📠0537-29-1116

[所在地] 〒436-0342 掛川市上西郷8021

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

33

医療法人社団 早友会

クロヤナギ介護老人保健施設

☎053-524-1000 📠053-524-1152

[所在地] 〒431-1404 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1

●開設／平成21年8月 ●入所定員／19名 ●通所定員／40名

34

医療法人社団 静寿会

鹿島の郷

☎053-925-5019 📠053-925-8369

[所在地] 〒431-3312 浜松市天竜区二俣町南鹿島36-1-2

●開設／平成23年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

35

医療法人社団 白梅会

白梅県居ケアホーム

☎053-458-2100 📠053-458-2101

[所在地] 〒432-8036 浜松市中区東伊場2-14-35

●開設／平成24年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

36

医療法人社団 光久会

はるのケアセンター

☎053-989-1500 📠053-989-1502

[所在地] 〒437-0605 浜松市天竜区春野町氣田776-5

●開設／平成24年4月 ●入所定員／60名 ●通所定員／30名

37

医療法人社団 あすま会

八幡の森

☎053-476-1156 📠053-401-0011

[所在地] 〒430-0918 浜松市中区八幡町181

●開設／平成24年11月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

38

医療法人社団 和恵会

みずほケアセンター

☎053-414-2220 📠053-414-2225

[所在地] 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-36

●開設／平成25年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

39

医療法人社団 友成医院

介護老人保健施設 きらりの森

☎053-589-3331 📠053-589-3332

[所在地] 〒434-0046 浜松市浜北区染地台3-29-20

●開設／平成26年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

40

医療法人社団 心

介護老人保健施設 坂の上ろうけん曳馬野

☎053-416-2015 📠053-416-2025

[所在地] 〒433-8123 浜松市中区幸4丁目36-3

●開設／平成27年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

17

医療法人 浜名会

まんさくの里

☎053-572-3911 📠053-572-3939

[所在地] 〒431-0422 湖西市岡崎1353-1

●開設／平成13年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／49名

18

御前崎市

はまおか

☎0537-86-8822 📠0537-85-7436

[所在地] 〒437-1688 御前崎市池新田2070

●開設／平成13年5月 ●入所定員／50名 ●通所定員／45名

19

医療法人社団 藤花会

花平ケアセンター

☎053-542-4187 📠053-542-4087

[所在地] 〒431-2211 浜松市北区引佐町花平708

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

20

医療法人社団 和恵会

白脇ケアセンター

☎053-444-3131 📠053-444-3132

[所在地] 〒430-0846 浜松市南区白羽町1424

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

21

医療法人社団 東医会

みかたはら介護老人保健施設

☎053-438-5886 📠053-438-5887

[所在地] 〒433-8105 浜松市北区三方原町675-6

●開設／平成19年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

22

医療法人社団 山川会

ケアセンター芳川

☎053-426-0003 📠053-426-0004

[所在地] 〒430-0838 浜松市南区巣野町24

●開設／平成15年10月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

23

医療法人社団 緑生会

天王介護老人保健施設

☎053-423-1070 📠053-423-1072

[所在地] 〒435-0051 浜松市東区市野町2495

●開設／平成19年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

24

医療法人社団 あおば会

あおばケアガーデン

☎0537-48-0002 📠0537-48-0024

[所在地] 〒437-1302 掛川市大淵4345

●開設／平成16年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

25

医療法人社団 緑風会

風の杜

☎0538-85-1121 📠0538-85-1171

[所在地] 〒437-0214 周智郡森町草ヶ谷104-1

●開設／平成17年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／43名

26

医療法人社団 晴和会

さわだの庄

☎0537-35-8889 📠0537-35-8880

[所在地] 〒439-0037 菊川市西方5511

●開設／平成17年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

27

医療法人社団 白梅会

白梅豊岡ケアホーム

☎0539-62-1601 📠0539-62-1606

[所在地] 〒438-0126 磐田市下神増183-1

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

28

医療法人社団 紅紫会

ナーシングホームオンフルール

☎0538-45-0080 📠0538-45-0081

[所在地] 〒437-0023 袋井市高尾1439-3

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

9

医療法人社団 和恵会

入野ケアセンター

☎053-440-1200 📠053-440-1201

[所在地] 〒432-8061 浜松市西区入野町6417

●開設／平成7年10月 ●入所定員／150名 ●通所定員／80名

10

医療法人社団 木野記念会

於保老健センター

☎0538-58-2550 📠0538-58-2552

[所在地] 〒437-1216 磐田市一色26

●開設／平成8年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

11

医療法人社団 川口会

エバーグリーン掛川

☎0537-21-0550 📠0537-21-0551

[所在地] 〒436-0043 掛川市大池680

●開設／平成8年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

12

社会福祉法人 天竜厚生会

さいわい

☎053-583-1156 📠053-583-1258

[所在地] 〒431-3492 浜松市天竜区渡ヶ島221

●開設／平成9年6月 ●入所定員／127名 ●通所定員／55名

13

医療法人社団 藤友五幸会

おおふじ五幸ホーム

☎0538-38-5511 📠0538-38-5656

[所在地] 〒438-0002 磐田市大久保508-3

●開設／平成10年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

14

医療法人社団 愛慈会

さくらの苑

☎0538-33-3800 📠0538-33-3802

[所在地] 〒438-0074 磐田市二之宮字仙水1162

●開設／平成10年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／39名

15

医療法人社団 学修会

神子の園

☎0537-20-0080 📠0537-20-0081

[所在地] 〒436-0084 掛川市逆川100

●開設／平成11年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

16

医療法人社団 清怜会

袋井ケアセンター

☎0538-49-4911 📠0538-49-4912

[所在地] 〒437-0003 袋井市萱間933-1

●開設／平成11年7月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

1

医療法人社団 一穂会

西山ウエルケア

☎053-485-5500 📠053-485-6130

[所在地] 〒432-8001 浜松市西区西山町411-2

●開設／平成元年3月 ●入所定員／148名 ●通所定員／64名

2

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

三方原ベテルホーム

☎053-436-6600 📠053-439-0055

[所在地] 〒431-1304 浜松市北区細江町中川17421-1

●開設／平成3年4月 ●入所定員／150名 ●通所定員／50名

3

医療法人社団 早友会

みっかび東介護老人保健施設

☎053-524-2000 📠053-524-1152

[所在地] 〒431-1404 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1

●開設／平成4年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

4

医療法人社団 長啓会

都ケアセンター

☎053-428-3331 📠053-428-3332

[所在地] 〒431-2102 浜松市北区都田町7555-47

●開設／平成5年3月 ●入所定員／405名 ●通所定員／20名

5

医療法人社団 恵成会

なかよし

☎0538-34-6543 📠0538-37-7498

[所在地] 〒438-0838 磐田市小立野135-1

●開設／平成6年3月 ●入所定員／50名 ●通所定員／40名

6

医療法人社団 明徳会

エーデルワイス

☎053-585-1500 📠053-585-1501

[所在地] 〒434-0041 浜松市浜北区平口2405

●開設／平成6年9月 ●入所定員／150名 ●通所定員／60名

7

医療法人社団 岡崎会

ハイマート有玉

☎053-434-7877 📠053-435-4987

[所在地] 〒431-3122 浜松市東区有玉南町1436

●開設／平成7年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

8

医療法人社団 白梅会

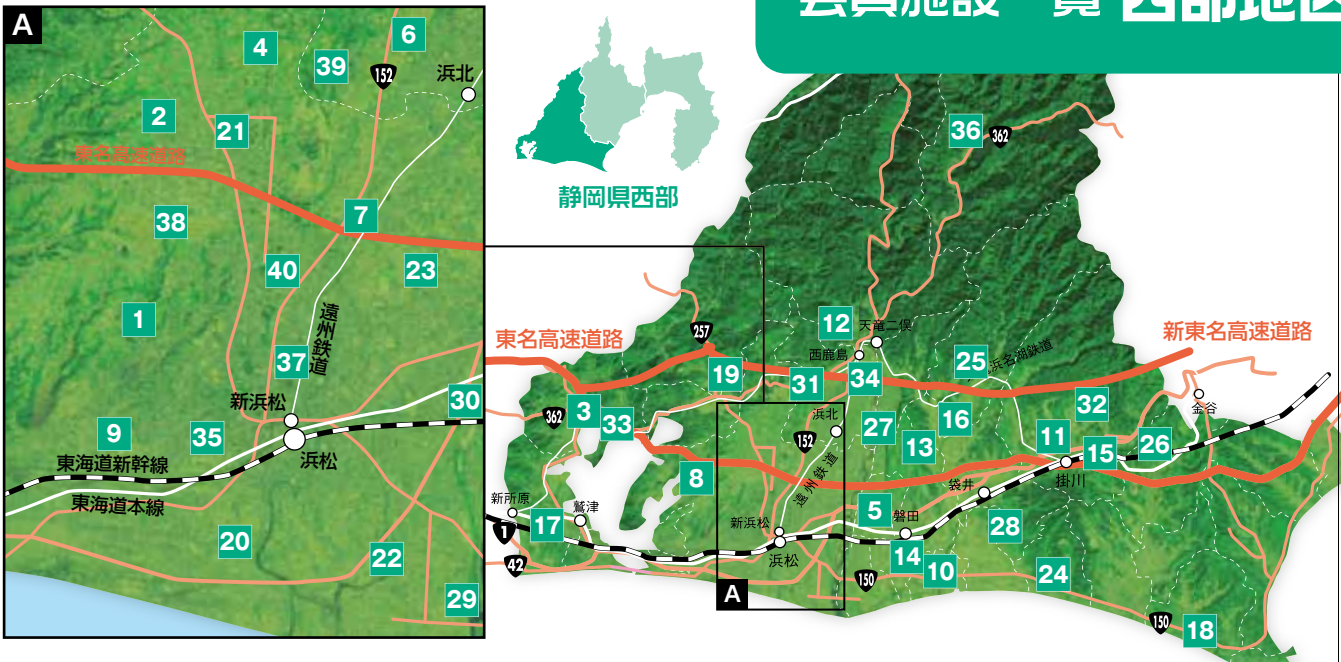
白梅ケアホーム

☎053-485-7711 📠053-485-7712

[所在地] 〒431-1112 浜松市西区大人見町3011-1

●開設／平成7年4月 ●入所定員／150名 ●通所定員／40名

会員施設一覧 西部地区



めつちや 好きやねん老健

～咲かせよう
医療と介護の大輪の花～

第27回

全国介護老人保健施設大会

大阪

平成28年

9月14日(水)-16日(金)

大阪国際会議場
リーガロイヤルホテル

<http://www.roken2016-osaka.jp/>

大会HP

大会会長

川合秀治

(公益社団法人 全国老人保健施設協会大阪府支部長)

主催

公益社団法人 全国老人保健施設協会
Japan Association of Geriatric Health Services Facilities

第27回 全国介護老人保健施設大会 大阪 大会事務局

(公益社団法人 大阪介護老人保健施設協会)

〒543-0052 大阪市天王寺区大道2-11-11 グラン・ビルドさとり402 Tel.06-6774-7601 Fax.06-6774-7651

クレジット：©(公財)大阪観光局(水上バス、通天閣、道頓堀、大阪城、天神祭、写真5点)

第12回 東海・北陸ブロック 老健富山大会

地域の高齢者が
安心できる
住宅支援の取り組み

～在宅支援のための地域連携に向けて～

[日程] 2016年5月26日(木)・27日(金)

[会場] 富山国際会議場

富山市大手町1-2 電話076-424-5931



INDEX

老健しずおか

静岡県老人保健施設協会機関誌 第20号

- 1 ご挨拶／静岡県老人保健施設協会 会長 猿原 孝行
- 2 ご挨拶／静岡県健康福祉部福祉長寿局 福祉指導課長 田光 祥浩

3 TOPIC 1 静岡県の老健施設における 災害への備え

7 TOPIC 2 人材確保への取り組み

- 9 平成27年度／事業報告
- 10 平成27年度／職員研修発表会報告

部会報告

- 11 看護・介護部会
- 13 リハビリ部会
- 15 通所リハビリ部会
- 17 支援相談員部会
- 19 栄養部会

県内老人保健施設協会会員施設紹介

- 21 ●県内新規会員介護老人保健施設紹介
- 23 ●東部地区 ●中部地区 ●西部地区



富士山反射炉